

記念講演会

「イエズス会の美術戦略—宗教改革と世界伝道」

2017年9月30日（土）14時～15時（開場13時30分）

会場：東京富士美術館／本館 ミュージアムシアター

料金：無料（ただし、展覧会の入場料金が必要、土曜は中小生無料）

申込：不要。定員200名

※当日正午より、講演会場入口にて入場整理券を配布（お一人様一枚配布）

講師：池上英洋（いけがみ・ひでひろ）

■講師プロフィール：



東京造形大学教授。1967年、広島生まれ。東京芸術大学卒業・同大学院修了。専門はイタリアを中心とする西洋美術史・文化史。日本文藝家協会会員。

著書に、『レオナルド・ダ・ヴィンチ—西洋絵画の巨匠8』『イタリア・ルネサンス美女画集』（ともに小学館）、『ルネサンス歴史と芸術の物語』『イタリア 24の都市の物語』『恋する西洋美術史』（いずれも光文社）、『神のごときミケランジェロ』（新潮社）、『もっと知りたいラファエッロ』（東京美術）、『死と復活』『西洋美術史入門』『官能美術史』『残酷美術史』（いずれも筑摩書房）、『「失われた名画」の展覧会』（大和書房）など。

■内容：

日本からはるばる海を越えて、四人の若き少年たちがイタリアの地に足を踏み入れたのは1585年のことです。この時、ヨーロッパ大陸では宗教改革の嵐が吹き荒れていました。新たに登場したプロテスタント勢力が徐々にその支配域を広げ、カトリック教会は対抗のための方策をとる必要に迫られます。これが「対抗宗教改革（カトリック改革）」です。美術様式における時代区分上「マニエリスム期」と呼ばれる16世紀の美術には、こうしたさまざまな宗教上の狙いが映し出されています。

本講演では、対抗宗教改革を牽引し、また天正遣欧使節を企画したイエズス会の美術戦略を中心に、宗教改革と美術との関係と、アジアへの影響を皆さんと一緒に見てまいりましょう。